

# 自然との共生

## 太陽・風・熱と上手につき合おう！

### 1 太陽と上手につきあう

日差しを取り込んだり透ったりすることは、家を建てる上で最も重要です。日照時間の長い高知県は冬は恵まれた環境ですが、反対に夏は日差しが強い厳しい環境となります。夏は涼し、冬は取り込むことができるような、太陽と上手につきあう快適で省エネルギーな家に行きましょう。

#### 深い軒・庇

最近では住宅の洋風化や都市型の家が普及し、軒が出ていても60cm程度の軒の浅い住宅が多くみられます。これでは高知県の強い日差しは遮れません。最低でも1mは必要です。洋風の意匠も軒を出すデザインを取り入れましょう。深い軒・庇は雨風対策にもつながります。



#### 緑化対策

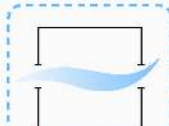


■木々により日差しを遮る

■駐車場の緑化

### 2 風と上手につきあう

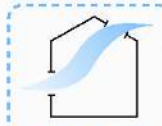
通風の良い家は湿度や暑さをしのぐことができ、健康的に暮らせます。間取り、窓を効果的に配置しましょう。



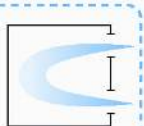
**窓を対面させる**  
風は入口だけでなく出口が必要で、一部屋に窓が理想です。



**高低差を付ける**  
窓に高低差をつければ、より効果的に風が流れます。地窓や高窓の引直。



**天窗を利用する**  
天窗は日差しの取入れだけでなく、通風にも効果的です。



**上下につける**  
やむを得なく室内に窓をつけられる箇所が一面しかない場合は、高低差をつける。

#### 計画換気

まちなかに建つ住宅の場合は隣地と接近していることがあります。そういった時、風を通すために高窓や天窗をとるといった工夫も必要ですが、機械による換気に頼る必要が出てきます。シックハウスの問題以降、建築基準法で義務化されており、効果的に空気を流さなければなりません。

■換気方式には、3つの種類があります。

換気種類	特徴	注意点
第1種換気方式 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸気・排気機、機械による換気を行う。</li> <li>●安定して空気を流すことができる。</li> </ul>	各居室に給気機を設置。 吸気量と排気量のバランスをとる必要がある。
第2種換気方式 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸気は機械に、排気は自然による換気を行う。</li> </ul>	建物の縦密度によっては、室内の湿気が壁内へ侵入する恐れがあり、内部結露が起こる可能性が高い。
第3種換気方式 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸気は自然に、排気は機械による換気を行う。</li> <li>●排気が機械のため、湿気が壁に侵入しにくい。</li> <li>●低価格な方式。</li> </ul>	各居室に給気口を設置。 居室内在換気設備により減圧されるため、天井裏等より空気が流入する恐れがある。そのため、この換気方式を採用する場合、天井裏等にも換気設備が必要となる事がある。